



・この図幅は島の西南部約4分の1を占めているにすぎないが島の地質もほぼ同心円状を示しているために島全体のおおよその地質をうかがうことが出来る。すなわち島の大部分は花崗岩からなり島のまわりを縁どるように四万十層群が露出している。

・屋久島の四万十層群は化石の発見は従来からまったくなく時代決定はされていない。しかし岩相・堆積構造・地質構造から日南層群・種子が島の熊毛層群にほぼ対比され時代は古第三紀と推定されている。海岸沿いに露出し下部からA～D層に分けられる。岩相はもちろん堆積構造にはとくに力が入れられ図面・写真が多く巻末には図版が6つ付されている。

・屋久島の花崗岩は新第三紀13～14百万年と年代決定された黒雲母花崗岩で岩体くまなく正長石の巨晶が含まれていることで有名である。主岩相には新しく8コの化学分析値が明示されており正長石巨晶は各地における含有量産状などがくわしく記載されている。

・花崗岩は四万十層群に接触変成作用を与え堆積岩はホルンフェルスになっているが董青石帯と黒雲母帯とに分けられる。

・本図幅地域の第四系は狭少であるが山岳部の平坦部時には海拔1,700mの高所にまで流紋岩の軽石と酸性安山岩—デイサイト岩片を含む火砕流堆積物が分布している。これは約6,000年前に鬼界カルデラから噴出したものと推定されている。

地質調査所で出版している地質図類は下記で販売されています。

東京都府中市栄町1-18-16  
地学文献センター  
Tel. (0423) 62-5050

5万分の1地質図幅の新刊

# 屋久島西南部 YAKUSHIMA-SEINAMBU

5万分の1地質図幅  
地域地質研究報告

著者 佐藤岱生(鉱床部) 長浜春夫(地質部)

発行 工業技術院 地質調査所

取扱先 地学文献センター (0423) 62-5050

・屋久島は九州から南へ海上約60km 直径27kmのほぼ円形の島で屋久杉で有名である。しかし島は南九州でも最高峰の宮の浦岳(海拔1935m)がありその地形は急峻である。

地質ニュース	第298号	6月号
	定価 500円	実費
昭和54年6月1日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林久	
発行所	株式会社実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951(代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局	政府刊行物仕入部
	東京都港区赤坂表町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	